

富山高等専門学校技術振興会寄付金

令和3年度（R3.10.1～R4.9.30）事業報告

1. 共同研究助成事業（予算額：1,500,000円、執行額：1,900,000円）

以下のとおり、富山高専教員と会員企業との共同研究等を実施した。会員企業と共同研究を実施した富山高専教員に対する助成については、対象となった29件に助成を実施した。

①共同研究

51件（全体：76件）

②受託研究

2件（全体：12件）

※件数は令和3年度の延べ件数、全体は技術振興会会員企業を含む全ての企業との件数

2. 研究会等助成事業（予算額：3,500,000円、執行額：2,267,316円）

①コラボフォーラム等の研究会の実施

以下のとおり、コラボフォーラム等の研究会を実施した。

○令和3年度研究推進フォーラムの開催

富山高専の教職員・学生の研究を高度化することを目的として、研究推進フォーラムを開催した。富山高専卒業生による英語での講演や専攻科生41名による英語でのポスター発表を行った。

・開催日時：令和3年12月16日（木）13:15～15:50

・参加者：60名（技術振興会会員、シニアフェロー、教職員、専攻科生）

【講演内容】

演題：『My Career: Research and English』

講師：明治大学 理工学部 応用化学科 助教 岡崎 琢也 氏

演題：『The DNA Damage Response and its Importance in Human Health』

講師：オックスフォード大学 海外特別研究員 塚田 海馬 氏

○とやま KOSEN コラボフォーラムの開催

・開催日時：令和4年3月2日（水）13:30～17:00

・参加者：40名（技術振興会会員、教職員）

【講演内容】

講演1 技術振興会会員企業との共同研究実施状況報告

演題：『ミストCVD法による酸化半導体薄膜の形成』

機械システム工学科 准教授 喜多 正雄

演題：『MCF（磁気混合流体）ホイールを用いた平面研磨に関する基礎研究』

機械システム工学科 准教授 山本 久嗣

演題：『ノーマライゼーションの実現に向けた富山県内企業および就労関連団体との連携に関する調査研究 ―障害者雇用と働き方改革についての事例報告―』

電子情報工学科 准教授 秋口 俊輔

講演2 技術振興会会員企業によるプレゼンテーション

演題：『人々を守り生活を彩る美しいガラスづくりと技』

三芝硝材(株) 生産本部所管 専務取締役 増山 隆 氏

演題：『商社およびメーカーとして6つの幅広い領域でのビジネス展開と活気ある地域づくり』

三谷産業(株) 取締役 梶谷 忠博 氏

演題：『お客様の声をもとに作り出した開発製品 Challenge!! Change!! Chance!!』
(株)小矢部精機 技術開発部 研究開発課 課長 高長 昌志 氏

②教員の海外短期派遣の実施

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により中止となった。

③共通機器管理に対する助成

富山高専の共通機器管理（NMR 装置等維持費）に係る費用の助成を行った。

④富山高専の若手研究者のスタートアップの支援

着任 5 年以内及び 40 歳未満（令和 3 年 4 月 1 日時点）の教員 2 名に対し、スタートアップ支援を行った。（順不同）

対象者：一般教養科 中村 祐太郎

研究内容：ジュニアスポーツクラブの魅力的発展に関するケーススタディ：ジュニアバレーボール地域リーグ「東北 i リーグ」に着目して

対象者：商船学科 布目 明弘

研究内容：セーリングによるシーマンシップ教育に関する研究

3. キャリア教育・就職支援事業（予算額：3,150,000 円、執行額：2,425,360 円）

①技術振興会会員企業への見学等

・県内工場見学・企業見学

令和 4 年 9 月 28 日

日産化学株式会社、三協立山株式会社（機械システム工学科 3 年生が参加）

北陸電力株式会社（電気制御システム工学科 3 年生が参加）

富山スガキ株式会社、日本ゼオン株式会社（物質化学工学科 3 年生が参加）

令和 3 年 10 月 29 日

北陸コンピュータ・サービス株式会社（電子情報工学科 3 年生が参加）

株式会社スギノマシン（国際ビジネス学科 3 年生が参加）

会員企業の工場見学を実施し、学生の進路意識や学習意欲の向上を図った。

・専攻科授業科目「地域産業学」における工場見学

令和 3 年 11 月 29 日 株式会社村田製作所

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、工場内見学は中止となったが、本郷キャンパスにて、講師の方にお越しいただき、会社紹介・仕事紹介・ロボットのデモンストレーションを実施いただいた。

②技術振興会会員企業による企業説明会（企業研究会）の支援

令和 3 年 11 月 10 日（参加企業：119 社 参加学生：240 名）

学生のキャリア教育の一環として、会員企業と懇談できる場を設けることにより、実社会にはどのような企業があり、企業はどのような人材を求めているかを学生自らが研究する機会を提供する目的で実施した。

③産学連携教育（Ti-TEAM）の支援

令和 3 年 11 月 10 日（参加企業：35 社、対象学生：1 年生）

全学科 1 年生を対象に、協力いただいた技術振興会企業の事業・業務内容を学ぶ産学連携教育プロジェクトを実施した。

※産学連携教育（Ti-TEAM）とは、全学科 1 学年を対象とした会員企業の事業・業務内容を

学ぶ産学連携教育プロジェクトであり、学生チームが担当する会員企業の特徴やデータの活用について事前調査し、取材、レポート作成を経て、多角的な視点から理解を深めることを目標とした事業である。

④海外インターンシップへの支援

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、海外インターンシップは中止となった。

⑤学生のキャリアアップのための支援

令和4年2月18日(金)（講師：卒業生3名、対象学生：81名）

学生の進学・職業選択の自己理解と進路形成への認識を深めるため、キャリアガイダンスを実施した。

4. 講演会等開催事業（予算額：0円、執行額：0円）

令和3年度の講演会は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止の観点から中止した。

5. コーディネーター支援事業（予算額：2,500,000円、執行額：2,750,173円）

コーディネーターの活動に対する支援を行い、コーディネーター2名体制による産学連携活動の強化を図った。

6. 新規事業・その他支援事業（予算額：2,920,674円、執行額：499,430円）

①新規事業の実施支援

新規事業への補助は行わなかった。

②技術相談

富山高専教員及びコーディネーターが、会員企業の技術ニーズを掘り起こし、富山高専の技術シーズを紹介した。

○技術相談：12件（技術振興会企業以外の企業含む）

③シニアフェローによる教育・研究支援

以下のとおり、教育に対する助言等の支援を行った。

○令和3年度研究推進フォーラム

実施日：令和3年12月16日（木）13:15～15:50

参加いただいたシニアフェロー（順不同）

- ・植田 要治（立山科学グループ 立山科学株式会社 技術本部企画戦略グループ部長）
- ・西田 純（合同会社オフィス西田 チーフコンサルタント）
- ・野中 秀夫（エヌアイシ・オートテック株式会社 技術開発部）
- ・藤田 正良（元国立高等専門学校機構）
- ・渡辺 亮介（株式会社NFA R&D 代表取締役）

○令和4年度 専攻科・エコデザイン工学専攻「特別演習」成果発表会

実施日：令和4年7月27日（水）13:00～15:00

実施方法：Microsoft Teamsによるオンライン配信

参加いただいたシニアフェロー（順不同）

- ・藤田 正良（元国立高等専門学校機構）
- ・田口 信夫（株式会社網屋 監査役）
- ・米澤 久恵（コーセル株式会社 R&D センターCS 開発部 CS 課）
- ・碓井 優介（日産エンジニアリング株式会社 エンジニアリング部）

- ・熊西 勝己（株式会社宮本工業所 執行役員技術部長）

○「技術と環境」

内容：専攻科生向けに開講している授業科目において以下の講義を行った。

- ・令和4年6月21日（火） 岡 譲二（株式会社エネドリーム 代表取締役）
- ・令和4年6月27日（月） 酒井 久裕（協伸熱処理工業株式会社 代表取締役）
- ・令和4年7月12日（火） 熊西 勝己（株式会社宮本工業所 執行役員技術部長）
- ・令和4年7月19日（火） 高木 悦朗（TSK株式会社 代表取締役会長）
- ・令和4年8月2日（火） 上田 一人（株式会社Eアル 代表取締役）
- ・その他、会員企業（株式会社リョーシン）による講義を1回実施。

④企業人材育成に対する支援事業

次世代スーパーエンジニア養成コースへの富山高専教員の派遣への助成を実施した。

○電子情報工学科 教授 小熊 博

授業科目名：電機システム工学特論（メカトロニクスと AI/IoT）

講義タイトル：Internet of Things：データ収集からセキュリティまで

開講日：令和4年6月25（土）10:45～12:15

開講場所：国立大学法人富山大学

⑤情報発信

○技術振興会ホームページ及びメールによる情報発信

内容：富山高等専門学校技術振興会ホームページを更新し、イベントなどの実施状況について情報発信を行った。

※富山高等専門学校技術振興会の URL：<https://www.nc-toyama.ac.jp/tech/>

○会員名板の更新

内容：富山高等専門学校の両キャンパスに設置してある技術振興会会員の名板プレートの更新を行った。

○会員企業情報の紹介

内容：富山高等専門学校の両キャンパスに設置してあるデジタルサイネージにより、技術振興会会員企業の企業情報の紹介を行った。

合計予算額：13,570,674 円、合計執行額：9,842,279 円、繰越額：3,728,395 円